

事業所名 **グループホームひまわり**

日 付 **平成18年1月18日**

評価機関名 **特定非営利活動法人
高齢者・障害者生活支援センター**

評価調査員 ① **介護支援専門員・栄養士**
② **介護支援専門員・看護師**

[自主評価結果を見る\(事業所の自主評価結果にリンクします\)](#)

[評価項目内容を見る\(岡山県の定めた評価項目へリンクします\)](#)

事業者のコメントを見る
(評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります)

※

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

職員同士の意思疎通がきちんと図られるよう、システムや教育等が徹底されている。又、法人代表者が認知症介護に精通されており「入居者の尊厳を守ること・個性性を尊重する・選択の自由を保障する」の理念に基づき、利用者主体の生活が送れるよう職員が一丸となって取り組んでいる様子が窺えました。医療との連携も密に行われ、本人・家族の意向によりターミナルケアも実際に行われています。介護計画においては、入居者の幼少期から現在に至るまでの生い立ちを経過別にヒアリングされており、その内容がケアプランに反映され、日々の生活の中で入居者とのコミュニケーションが円滑に行われるよう工夫されています。家族にも密に連絡を取り、ありのままを見ていただきたいという思いで取り組んでおられ開放的であった。そして何より入居者が生活に馴染んでおられ、元気で落ち着いた環境にあり、職員も入居者が笑顔で生活できるよう常に考え取り組んでおられる姿勢が伝わってきました。

特に改善の余地があると思われる点

介護計画について随時見直されているが、達成度(評価)の記載があれば振り返りだけでなく職員の意欲の向上にもつながると思う。又、建物の構造上(階段が急な為、転落予防で戸が施錠されているため)難しいかもしれないが、地域との繋がりをグループホーム独自でも持ち、入居者と地域の方が気軽に行き来できる環境になると、更に良いのではないかと思います。

Ⅲ ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		○
30	家族の訪問支援	○	

記述項目 一人の力と経験の尊重やプライバシー保護の為に取り組んでいるものは何か。

入居者の幼少期からの生い立ちを聴き、本人の生活歴を時期を遡って把握し対応している。華道を以前なさっておられた入居者にリビングの花を活けてもらったり、料理の好きな方に調理を手伝ってもらうなど、その方に応じた能力や経験を尊重している。又、プライバシーの保護に対しては、職員が入室する際は必ず声をかけた了承を得るようにしている。トイレも全居室に備わっているため、失禁等に対しても個別に人格を尊重しながら対応できている。

Ⅳ 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進		○
35	ホーム機能の地域への還元		○

記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。

月に1回テーマを決めて勉強会を行い、介護技術の向上に努めている。又、突発的なことがあれば、その都度ミーティングや勉強会を開催するようにしている。コミュニケーションに対しても、職員の実際の現場のビデオに撮って、お互い気づいた点を検討し合う等、取り組んでいる。

Ⅰ 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	

記述項目 **グループホームとしてめざしているものは何か。**
理念に基づき、入居者が落ち着いて、楽しく日々笑って過ごせるよう、個別ケアに特に力を入れて取り組んでいる。利用者本位の生活であるよう細かな配慮、日々の観察がしっかりと行なえるよう研修にも力を入れて取り組んでいる。今年度はアクティビティを増やしたいと個別に外出の計画を立てたり入居者の希望に合わせて対応できるよう職員が一丸となって取り組んでいる。又、医療との連携も密にとりながら看護師も配置し健康面も配慮しながらケアにあたっている。家族・本人の意向があればターミナルケアも行なっている。

Ⅱ 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周や空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	

記述項目 **入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。**
建物の空間を利用し、詰め所前に椅子を並べ、空いたスペースにソファを置くなどし、喫煙場所や落ちつける場の確保を考えている。
テレビを見やすいよう設置場所の工夫をしたり、入居者同士のトラブルを避けるため、席や職員の配置等、配慮している。

Ⅲ ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	